

プログラム: 王城ビル(A)-④

## 「DOMMUNE KABUKICHO」SAELLITE STUDIO



宇川直宏率いる**DOMMUNE**がオーガナイズする、歌舞伎町ならではのサイトスペシフィック・コアなサテライトスタジオ！

会場: [王城ビル B1F](#) (新宿区歌舞伎町1-13-2)

日時: 11/4(月・祝) 15:00-21:00

料金: 1DAYチケット

プログラム:

### ■15:00-18:00 Audible ORIGINAL「DOMMUNE RADIOPIEDIA」

<聴く超名作映画> 町山智浩の「映画百物語」第六巻～新宿&歌舞伎町ムービー・エクストリーム

出演: [町山智浩](#) ゲスト: [ピエール瀧](#) (電気グルーヴ)、[大根仁](#) (映画監督)、[麻生子八咫](#) (活弁士) 進行: [宇川直宏](#)

- 町山智浩『新宿泥棒日記』大島渚(1969)
- 大根仁『竜二』監督: 川島透(1983)
- ピエール瀧『東京ゴッドファーザーズ』監督: 今敏(2003)
- 大根仁『殺し屋1』監督: 三池崇史(2001)
- 麻生子八咫『喜劇・女は男のふるさとヨ』監督: 森崎東(1971)
- 町山智浩『地面師たち』Special Review 監督: 大根仁(2024)

### ■18:00-19:00「DOMMUNE LIVEPIEDIA」Chapter1

LIVE: [小山田圭吾](#) x [砂原良徳](#) x [中原昌也](#)

### ■19:00-20:00 DJ: [ASIANDOPEBOYS](#) & [Chiro](#) (from 北京)

### ■20:00-21:00「VMO EXTREME STROBE LIGHT KILL ALL SET」

LIVE: [VMO a.k.a Violent Magic Orchestra](#)

### ■DOMMUNE KABUKICHO

長年歌舞伎町で活動してきたChim↑Pom from Smappa!Groupが芸術監督を務める「BENTEN 2024」のアジト＝王城ビルに現”在”美術家の宇川直宏率いる**DOMMUNE**が、17箇所目のサテライトスタジオ「DOMMUNE KABUKICHO」をGRAND OPEN!!! 1964年に名曲喫茶として君臨した王城ビルの地下一階に籠城し、ハードコアなマスターピースの数々をお見舞いする!!!! 第一部は、Audibleとのコラボレーションプロジェクトの超文化大百科「DOMMUNE RADIOPIEDIA」のスピノフで、町山智浩の「映画百物語」第六巻。新宿&歌舞伎町ムービー・エクストリームと題し、電気グルーヴのピエール瀧、映画監督の大根仁、活弁士の麻生子八咫という妖術使いのゲストを迎え、「妖怪百物語」のようなくすべらない映画話(≡©松本人志)を交換しあうイマーシブな白昼夢を描く!!!!!!

第二部は「DOMMUNE LIVEPIEDIA」Chapter1と題し、コーネリアスの小山田圭吾、ミュージシャン&DJの砂原良徳、そしてヘア・スタイリストの中原昌也という、幻術使いトリオによる”歌舞伎町電子音楽マッシュヴ”!!!!!! そしてDJにはチェン・ティエンジュオ率いる北京の先鋭コレクティブ**Asian Dope Boys**とOAWEARの**Chiro**によるDJ!!!!!! そして第3部は、**VMO a.k.a Violent Magic Orchestra**によるケミカルな霧の彫刻(©中谷英二子)を、666ナノ秒のフリッカー(©トニー・コンラッド)で明滅させるEXTREME STROBE LIGHT KILL ALL SET!!!!!! トー横キッズも、東京トンガリキッズ(©中森明夫)も、オーキッズ(©中川比佐子)も全員失神の6時間6分6秒!!!!!!

プログラム: 王城ビル(A)-⑦

## 活弁天映画祭

会場: [王城ビル](#) 5F

日時:

11/2(土)

①16:30-17:10

②22:30-23:10

11/4(月・祝)

①19:00-19:40

②22:00-22:40

料金: 1DAYチケット



活弁映画は日本にしかない独自の文化であり、落語など1人語りの芸風や、文楽など対象と分かれる語り芸の伝統、欧米映画の解説需要などから発展したとされる。サイレント映画時代の形態とされていたが、現代版活弁士たちにより新たな表現として更新されている。脚本に縛られず、ひとつの映像を多様な作品に変容させるのが特徴だ。

今回のBENTEN映画祭では、麻生子八咫(あそうこやた)が活弁を披露する。父・麻生八咫とともに「活弁教室」を主宰し、海外での英語活弁や脚本、演出など、幅広い活動を行う表現者であり、東京大学大学院で文化研究を学んだ貴重な活弁研究者でもある。

■演目(演目あらすじは[こちら](#)) new!

『月世界旅行』

『アトム光』

『ONE WEEK』

『血煙り高田の馬場』

『大学は出たけれど』

■麻生子八咫(あそうこやた)

活弁士

父・麻生八咫(やた)の活弁を観て育ち、10歳で浅草木馬亭よりデビュー。2003年第48回文部科学大臣杯全国青年弁論大会・文部科学大臣杯受賞。2008年高校の英語教科書『All Aboard II』(東京書籍)に“A Young Katsubenshi”として紹介される。2016年麻生八咫子八咫の記念切手発売。2020年3月東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得満期退学。司会、英語活弁、講演会、脚本、演出、諸芸能等、さまざまな舞台活動を行う。2005年より麻生八咫と子八咫の「活弁教室」主宰し、後進の指導にも努める。日本弁論連盟理事。『月刊浅草』副編集長。埼玉県鴻巣市「こうのす観光大使」。大分県豊後大野市「ふるさと大使」。

台東区情報発信サイト『TAITOおでかけナビ』ライター。

[https://katsuben.com/whats-katsuben/koyata\\_profile/](https://katsuben.com/whats-katsuben/koyata_profile/)

プロフィール写真撮影: 戒康友



## DOMMUNE KABUKICHO

出演者プロフィール:

### ■DOMMUNE

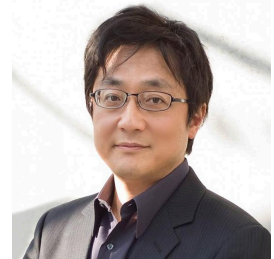
現代日本のアートシーンの中でも異彩を放つ宇川直宏が、ソーシャルストリームの時代を見据えた新たな文化の発信拠点として、2010年に開局させた日本初のライブストリーミングスタジオ『DOMMUNE』。SNSの夜明けと言われた時代に「ファイナルメディア」として忽然として現れ、百花繚乱のライブストリーミング番組の中でも、圧倒的な番組の質とビューワー数を誇り、開局以来、世界各国から様々なゲストが来日のたびに出演する唯一無二の文化プラットフォームとして存在し続けている。あのロンドンを拠点とするミュージックチャンネルBOILER ROOMにも影響を与え、BOILER ROOM TOKYOの日本支局もDOMMUNEが担当している。このように『DOMMUNE』は現在世界に溢れているサウンド&アートストリーミング、また、カルチャーストリーミングのほとんど全ての雛形を作ったと言っても過言ではない。また、宇川はスタジオで日々産み出される番組の、撮影行為、配信行為、記録行為を、自らの"現在美術作品"と位置づける。これまでDOMMUNEは数々の現代美術の国際展に参加し、ロンドン、ドルトムント、ストックホルム、パリ、ムンバイ、リンツ、福島、山口、大阪、香川、金沢、秋田、札幌、佐渡島と、全世界にサテライトスタジオをつくり、偏在(いま、ここ)と、遍在(いつでも、どこでも)の意味を同時に探求し続けている。10年間に渡って配信した番組は約7000番組/約1万5千時間/300テラを越え、トータル視聴者数2億人を超える。今もなおその影響力は衰えず、2019年、リニューアルした渋谷PARCO 9Fにスタジオを移転。ファイナルメディア『DOMMUNE』の進化形態『SUPER DOMMUNE』へと展開した。2021年、芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。今回BENTENではその最新サテライトスタジオ「DOMMUNE KABUKICHO」をOPEN!!!!!!!

<https://www.dommune.com/>

### ■町山智浩 | TOMOHIRO MACHIYAMA

映画評論家、コラムニスト。1962年、東京生まれ。早稲田大学法学部卒業。在学中に啓文社の大百科シリーズを編集した後、宝島社に入社。「宝島」「別冊宝島」などの編集を経て、洋泉社にて雑誌「映画秘宝」を創刊。1997年にアメリカへ移住、現在はカリフォルニア州バークレー在住。『映画の見方がわかる本』『アメリカ人の半分はニューヨークの場所を知らない』『キャプテン・アメリカはなぜ死んだか』『ファビュラス・バーカー・ボーイズの映画欠席裁判』(共著)ほか著書多数。主なレギュラー番組にBS朝日「町山智浩のアメリカの今を知るTV In Association With CNN」等がある。

<https://x.gd/jjB2g>



### ■ピエール瀧 | PIERRE TAKI

1967年4月8日生まれ、静岡県出身。1989年に石野卓球らと結成した電気グルーヴでミュージシャンとして活躍する一方、1995年頃から俳優としてのキャリアをスタート。映画『凶悪』(白石和彌監督/2013年)の演技が評価され、第37回日本アカデミー賞優秀助演男優賞など、数々の賞を受賞。主な出演作品には、ドラマ『64(ロクヨン)』(2015年/NHK)、映画『怒り』(2016年/李相日監督)、映画『アウトレイジ 最終章』(2017年/北野武監督)、Netflixシリーズ『サンクチュアリ-聖域-』(2023年/江口カン監督)、『地面師たち』(2024年/大根仁監督)など。また、ゲームや映像のクリエイター、プロデューサー、執筆業など、活動は多岐にわたる。

<https://www.denkigroove.com/>



### ■大根仁 | HITOSHI ONE

1968年生まれ。テレビドラマ「モテキ」「共演NG」「エルピス-希望、あるいは災い-」などの話題作を数多く手掛ける。2011年に劇場版『モテキ』で映画監督デビュー。その他の映画作品に『バクマン。』『SCOOP!』『奥田民生になりたいボーイと出会う男すべて狂わせるガール』『SUNNY 強い気持ち・強い愛』など多数。2019年に外部演出家として初めてNHK大河ドラマ「いだてん〜東京オリムピック噺〜」に参加。『モテキ』で第35回日本アカデミー賞話題賞 作品部門、『バクマン。』で第39回日本アカデミー賞優秀監督賞、「エルピス-希望、あるいは災い-」で第60回ギャラクシー賞テレビ部門 大賞、電気グルーヴ26年間の音楽生活を追った『DENKI GROOVE THE MOVIE?』でスペースシャワーTV主催のBEST MUSIC FILMを受賞。監督・脚本を手がけた「地面師たち」がNetflixにて世界独占配信中。

<https://www.instagram.com/hitoshione/>



### ■麻生子八咫 | KOYATA ASO

活弁士。父・麻生八咫(やた)の活弁を親で育ち、10歳で浅草木馬亭よりデビュー。2003年第48回文部科学大臣杯全国青年弁論大会・文部科学大臣杯受賞。2008年高校の英語教科書『All Aboard II』(東京書籍)に“A Young Katsubenshi”として紹介される。2016年麻生八咫子八咫の記念切手発売。2020年3月東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得満期退学。司会、英語活弁、講演会、脚本、演出、諸芸能等、さまざまな舞台活動を行う。2005年より麻生八咫と子八咫の「活弁教室」主宰し、後進の指導にも努める。日本弁論連盟理事。『月刊浅草』

